



## 第34回小樽開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

令和5年2月16日に開催された「第34回小樽開発建設部総合評価審査委員会」の審議概要を、別紙のとおりお知らせいたします。

**ShiriBeshi**  
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部  
技術管理課長 田中 学 (0134-23-8305)  
技術管理課長補佐 <sup>はぎはら</sup> 穂原 浩 (0134-23-8305)



### 第34回 小樽開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	令和5年2月16日(木) 小樽開発建設部 第1会議室	
委員長	穴沢 眞 (小樽商科大学学長)	
委員	八木 宏樹 (小樽商科大学名誉教授)	(五十音順)
〃	山本 泰司 (北海道科学大学工学部 教授)	
議 事	<b>【審 議】</b> 工事の審査について ① 石狩湾新港 用地護岸建設その他工事 ② 一般国道5号 仁木町 仁木北改良外一連工事 ③ 一般国道5号 小樽市 銭函歩道設置外一連工事	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<b>【審 議】</b> 令和4年7月1日から令和4年12月31日までに契約した工事の中から抽出された3件について工事概要説明及び審議を行った。(以下、入札参加者の提案またはその評価に係わる内容は、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。)	
○石狩湾新港 用地護岸建設その他工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい技術が開発され、早期導入されれば高い評価を得ると思うが、ある程度普及してしまうと評価としては差が付かなくなってしまうのではないか。</li> <li>技術審査評価項目は定期的に見直されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術が普及し一般化した場合には、評価項目、評価基準等の見直しを検討します。</li> <li>前年の評価状況を踏まえて、必要に応じて評価項目を見直しています。</li> </ul>
○一般国道5号 仁木町 仁木北改良外一連工事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の能力評価でICT活用があるが、活用の有無をどのような形で評価するのか。</li> <li>施工計画で、軽量盛土工の施工管理に対する提案内容が各者でまちまちであるが、どの対応を取っても正常な施工ができるという観点から評価されているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本工事では土工に対するICT活用について入札参加者から申告があった場合に加点評価しています。申告したのに活用しなかった場合には工事成績評定点が減点となります。</li> <li>本工事は入札方法が施工能力評価(I型)であり、あくまでも施工能力の有無の確認が評価のポイントとなっています。様々な施工方法がありますが、それぞれ効果のある提案であると確認できたため評価しています。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<p>○一般国道5号 仁木町 仁木北改良外一連工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の施工能力評価ではあまり差が出ず、表彰の有無で差が出ている。これでは実績のある企業の評価が高くなる一方、新規参入が厳しくなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表彰を受けている企業は、工事成績評定等が特に優秀な企業であり、そのような企業に対し加点評価するとしています。</li> <li>・ 新規参入促進については、若手活用タイプ、過去の実績を不問とし技術提案のみで評価する等、様々な試行を活用しながら進めたいと考えています。</li> </ul>
<p>○一般国道5号 小樽市 銭函歩道設置外一連工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	